

プロジェクト名 北大カフェプロジェクト

代表/河村 宰祥 工学部 応用理工系学科 4年

■実施の内容

①「Green Open Cafe」 2016年5月21日(331杯)

1年生がカフェを体験し、また上級生と仲良くなることを目的として開催されたカフェ。シフトを時間ごとに区切って、一人が出来るだけ全ての仕事を出来るようにしたり、1年生も参加しやすいようなイベントを行ったりし、カフェが実際にどのようなものなのか体験してもらった。

②「北大祭カフェ」 2016年6月2日~6月5日(1,124杯)

北大祭に合わせて総合博物館横の理学部ローンにてカフェを開催した。

カフェは北大祭のメイン会場から少し離れ、初夏の新緑を眺めながら穏やかな雰囲気の中で休憩できる場所として、様々な方にご来場いただいた。Instagramのポップを用いた写真撮影や、音楽サークルによる演奏も好評で、会場は大いに賑わった。

③「お茶カフェ」 2016年7月24日(250杯)

お茶カフェは、本格的な日本茶を提供し、緑豊かな夏の北大構内で来場者に日本茶の魅力を感じてもらい趣旨のもと開催した。本企画は、札幌の日本茶専門店 玉翠園様のご協力を得て開催し、当日は来場者から大変な好評を頂いた。この様に他団体と連携した企画は、学生の域を越えたクオリティを提供できるポテンシャルがあるように思われる。

④「オープンキャンパスカフェ」 2016年8月7日(319杯)

大学のオープンキャンパスに際して、メインストリートの13条交差点にて開催した。オープンキャンパスにいらした高校生、保護者を対象に北大の雰囲気を伝える事を目標にした。企画としては、記念に残るように缶バッチの配布、メンバーの北大合格体験記や学部紹介冊子など作成した。

⑤「北大マルシェカフェ」 2016年8月20日・21日(380杯)

例年開催しているが、今年も同様に農学院の学生を中心に開催される「北大マルシェ」と協力して開催した。マルシェに訪れた人々が一息つけるカフェスペースの提供を目標とした。今年は天候に恵まれず、予想よりも来場者数は少なかったものの、コーヒー豆を当団体のオリジナルブレンドに変えて提供してみたところ、味が良いと評判であった。

⑥「わんにゃんかふえ」 2016年9月3日(280杯)

「犬や猫のペット飼育に伴う課題とその保護活動の周知」を目的としたカフェである。NPO法人「人と猫を繋ぐツキネコ北海道」及びボランティア団体「犬のM基金」のご協力のもと開催した。両団体は札幌市内で犬・猫の保護活動を行っており、当日は保護した犬・猫とのふれあいコーナーや適正飼育を伝えるブースも設けられた。

⑦「紅茶カフェ」 2016年10月9日(110杯)

北大総合博物館横のウッドデッキにて、カフェプロ初となる紅茶をテーマとするカフェを開催した。初めての試み故に分からないことが多く、当日も決して盛況だったとは言えないが、一部には好評であった。次回に向けての反省点やカフェ担当者の経験を多く得られたカフェであった。

⑧「銀杏並木カフェ」 2016年10月29日・30日(2,950杯)

秋の北大の名所である構内の北13条通りで、学生や観光客、札幌市民の方々との交流を目的に銀杏並木カフェを開催した。今年は天候に恵まれたこともあって、カフェプロ史上最大の2,950杯を提供した。音楽演奏に加え、ハロウィンにちなんだジャク・オ・ランタンやガーランドによる装飾など、今回初の企画も盛り込むことができた。

⑨「クラークシアターカフェ」 2016年11月26日・27日(209杯)

CLARK THEATER 2016主催の「CLARK THEATER 2016」にて、カフェスペースを提供した。映画の半券特典を用意するなど、会場の雰囲気づくりに貢献することが出来たと感じる。また、他団体とのコラボにより、多くの方々に当団体を知っていただくきっかけとなったカフェであった。

⑩「NoSeRA クリスマスライブカフェ」 2016年12月7日(95杯)

北海道大学のアカペラサークルであるNoSeRAが主催するクリスマスコンサートにてカフェスペースを提供させていただいた。カウンターにクリスマスらしい装飾を施し、クリスマスの雰囲気を来場者に味わってもらいつつ、温かい飲み物を飲みながらNoSeRAのライブを楽しんでもらえたカフェであった。

⑪かまくらカフェ 2017年2月11日・12日(予定)

北海道大学理学部ローンにおいて「冬の北大を味わうカフェ」を開催する。そこで運営されるカフェやかまくらの制作などの企画を通じて、地域の方や学生がお互いの存在をよりいっそう身近に感じ、大学内外の垣根を越えた深い交流が生まれるカフェ空間を創ることを目的とする。

■実施時期

2016年4月～2017年3月

■実施の評価

当団体は活動開始から10年目を迎え、今年度も様々なテーマで12回(開催予定を含む)のカフェを開催した。カフェ開催を通して、札幌市民や観光客、北大生をはじめとした学生など、北海道大学を訪れる様々な人々の交流のきっかけを作ることができた。また、自然豊かな大学構内でカフェを開くことで、穏やかな雰囲気の中、気軽にコミュニケーションができる空間を作ることができたと考えられる。

今年度の活動では、昨年に引き続き、多くの団体にお世話になった。わんにゃんかふえでは「人と猫を繋ぐツキネコ北海道」、「犬のM基金」、お茶カフェでは「北の日本茶専門店 玉翠園」、クラークシアターカフェでは「CLARK THEATER 2016」と協力してカフェを開いた。

また、運営面では北大元気プロジェクトをはじめ、札幌市北保健センター、札幌市役所にお世話になった。飲み物を取り扱うカフェの運営を行うという特性上、今後も様々な機関・団体に協力していただくことになる。今年度築き上げた関係を、ぜひ来年度以降もつなげていきたい。また、様々な団体との交流によって培われた経験は今後の社会生活に活かせるものであると思われる。

団体の活動においては、今年度は自主性を高められた一年であったと思われる。今年度も「お茶カフェ」「紅茶

カフェ」などの新たなカフェを開催し、昨年度特に評判の高かった、浴衣の着付けや飲み比べの企画を積極的に行った。更に今年はコーヒー豆のブレンドを自ら考え導入した。コーヒーをはじめとして、一年を通して飲み物について積極的に思考錯誤し質を高めることができた。

また、今年度はホームページのリニューアルを行った。誰もが気軽にインターネットを利用できる現代において、SNS やホームページを用いた広報活動を充実させることでより多くの方々に団体の存在を知ってもらえたと思う。

■構成員

氏名	学部・研究科名	学科・専攻名	学年
柳原千絵子	工学院	建築都市空間デザイン専攻	修士 1
八木伸一郎	法学部	法学課程	4
上田 菜穂	文学部	人文科学科	4
宮上 典子	文学部	人文科学科	4
茂木 友斗	文学部	人文科学科	4
村岡 愛子	文学部	人文科学科	4
大橋 史奈	農学部	応用生命科学科	4
菅原 雄太	工学部	環境社会工学科	4
中岡梨々子	工学部	情報エレクトロニクス学科	4
今宮 彩子	経済学部	経済学科	4
新屋 千夏	経済学部	経営学科	4
小川 帆貴	医学部	保健学科	4
藤木明日香	医学部	保健学科	4
本田 努	理学部	地球惑星科学科	4
川田 実沙	(北星学園大学)		4
関根 迪高	(北海学園大学)		4
玉木 慶弥	(北海学園大学)		4
日野早矢香	法学部	法学課程	3
岩谷 咲希	農学部	生物環境工学科	3
石田 拓都	工学部	情報エレクトロニクス学科	3
金成 雅季	工学部	環境社会工学科	3
白川 稜	工学部	情報エレクトロニクス学科	3
竹田 拓人	工学部	機械知能工学科	3
菊池祐里子	経済学部	経営学科	3
牧 理沙	経済学部	経営学科	3
関井菜々香	教育学部	教育学科	3
小林 葉月	医学部	保健学科	3
橋本侑里香	医学部	保健学科	3
恒川 佳諒	理学部	化学科	3
川島 誠洋	水産学部	海洋生物科学科	3
吉田賢史郎	水産学部	資源機能化学科	3

西川 真由	(藤女子大学)		3
高橋 優花	薬学部	薬学科	2
相間 雄仁	工学部	応用理工系学科	2
有馬 克紀	工学部	情報エレクトロニクス学科	2
河野 貴	工学部	応用理工系学科	2
中島 亮太	工学部	情報エレクトロニクス学科	2
会田 恭平	経済学部	経済学科	2
珍名 申明	経済学部	経営学科	2
山口 紗希	医学部	保健学科	2
大塚茉莉花	理学部	生物科学科	2
稲田 梨那	(天使大学)		2
尾澤なつみ	(天使大学)		2
児玉えみり	(日本医療大学)		2
月山あかり	(藤女子大学)		1
青木 孝祐	総合教育部		1
稲垣 龍弥	総合教育部		1
高田 萌花	総合教育部		1
高田 裕亮	総合教育部		1
高野 航太	総合教育部		1
馬場 晴未	総合教育部		1
藤田 萌々	総合教育部		1
本間 裕紀	総合教育部		1
横関 楓	総合教育部		1
安田 芽生	(北海道医療センター附属札幌看護学校)		1
山下穂乃花	(天使大学)		1
伊藤佳乃子	(北海道武蔵女子短期大学)		1
山本祐貴乃	(北海道武蔵女子短期大学)		1
大西紗弥花	(藤女子大学)		1
鳥谷部涼花	(藤女子大学)		1
中村 美紅	(藤女子大学)		1
西山 真由	(藤女子大学)		1
野戸谷夏鈴	(藤女子大学)		1
米田 七海	(藤女子大学)		1
山田 梨菜	(藤女子大学)		1
小川佳奈子	(北海道医療大学)		1

■その他（希望・反省等）

今年度は、団体の活動内容を見直して更により良い団体になるように心がけて活動を行った。特にカフェクオリティ面の強化を行うことができたと思われる。活動 10 年目を迎え、年々団体の人数も増えていることから、来年度は新規カフェの開催のみではなく、毎年開催されているカフェにおいても積極的に新しい企画の発案・実現ができると良いと思う。

また今年度も北大元気プロジェクトでは学内で活動する際の開催場所の申請や、ミーティング場所の確保という点で、大変お世話になった。金銭面だけでなく、このような学内を中心とした活動の活性化という点でも、北大元気プロジェクトの価値は高いと思う。今後も北大元気プロジェクトの制度が継続することを願う。

■自己採点

【採点項目】

- 当初の目的を達成できた
- 期待される成果・効果をあげられた
- 自主性・創造性を発揮できる機会となった
- 今後の学生生活に役立つ経験であった
- 修学及び研究意欲を高めることができた

5：特にあてはまる

4：あてはまる

3：まああてはまる

2：あまりあてはまらない

1：まったくあてはまらない

